

秋田大学工学部

令和6年度

総合型選抜

—案内—



総合型選抜 I (出願資格A) ※総合型選抜 I (出願資格B) との併願不可

出願資格

総合型選抜 I (出願資格 A) に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者となります。
また、合格した場合、入学を確約することができる者となります。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- 2 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- 3 学校教育法施行規則第 150 条(第 6 号を除く)の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力が認められる者および令和 6 年 3 月 31 日までこれに該当する見込みの者

選抜方法

講義、面接を実施し、講義を受講した後に提出するレポート、面接を評価して選抜します。
講師が講義をし、受験者は講義を受けながら講義の内容を理解し、指示にしたがってレポートを作成し、提出することとなります。講義の内容は高等学校の教科等の範囲外のものが含まれますが、講師は受験者へわかりやすいように工夫して講義をします。

募集コースおよび募集人数

生命科学コース	8名	電気電子工学コース	7名
応用化学コース	8名	人間情報工学コース	5名
材料理工学コース	7名	機械工学コース	11名
数理科学コース	4名	土木環境工学コース	5名

選抜日程

出願書類等受付期間	令和 5 年 9 月 1 日(金) ~ 9 月 7 日(木)必着
選 抜 期 日	令 和 5 年 9 月 30 日(土)
合 格 発 表 日	令 和 5 年 11 月 1 日(水)
入 学 手 続 期 間	令和 5 年 11 月 9 日(木) ~ 11 月 15 日(水)必着

総合型選抜 I (出願資格B) ※総合型選抜 I (出願資格A) との併願不可

出願資格

総合型選抜 I (出願資格 B) に出願することのできる者は、次のすべてに該当するものとします。
また、合格した場合、入学を確約することができる者となります。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- 2 志望コースによりそれぞれの出願要件に該当する者

志望コース	出願要件
生命科学コース	農業、工業、水産、家庭、看護および福祉に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
応用化学コース	工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
材料理工学コース	工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
電気電子工学コース	工業および情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
人間情報工学コース	工業および情報に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
機械工学コース	工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]
土木環境工学コース	工業および農業に関する教科・科目を 20 単位以上修得(見込みを含む。)した者 [学科の指定なし]

選抜方法

講義、面接を実施し、講義を受講した後に提出するレポート、面接を評価して選抜します。
講師が講義をし、受験者は講義を受けながら講義の内容を理解し、指示にしたがってレポートを作成し、提出することとなります。講義の内容は高等学校の教科等の範囲外のものが含まれますが、講師は受験者へわかりやすいように工夫して講義をします。

募集コースおよび募集人数

生命科学コース	2名	人間情報工学コース	2名
応用化学コース	2名	機械工学コース	5名
材料理工学コース	4名	土木環境工学コース	2名
電気電子工学コース	7名		

選抜日程

出願書類等受付期間	令和 5 年 9 月 1 日(金) ~ 9 月 7 日(木)必着
選 抜 期 日	令 和 5 年 9 月 30 日(土)
合 格 発 表 日	令 和 5 年 11 月 1 日(水)
入 学 手 続 期 間	令和 5 年 11 月 9 日(木) ~ 11 月 15 日(水)必着

出願資格

総合型選抜Ⅱに出願することのできる者は、次のすべてに該当するものとします。また、合格した場合、入学を確約することができる者とします。

- 次のいずれかに該当する者
 - 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和6年3月卒業見込みの者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和6年3月修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- 令和6年度大学入学共通テスト（指定する教科・科目を含む。）を受験する者

選抜方法

面接を実施し、大学入学共通テスト、面接を評価して選抜します。

大学入学共通テストは指定する教科・科目を一つでも受験していない場合は、出願できません。

学生募集要項をよく読み、漏れがないよう注意してください。

募集コースおよび募集人数

生命科学コース	4名	電気電子工学コース	7名
応用化学コース	3名	人間情報工学コース	3名
材料理工学コース	3名	機械工学コース	6名
数理科学コース	2名	土木環境工学コース	7名

選抜日程

出願書類等受付期間	令和5年12月13日(水)～ 12月19日(火)必着
選 抜 期 日	令和6年1月19日(金)
合 格 発 表 日	令和6年2月9日(金)
入 学 手 続 期 間	令和6年2月15日(木)～ 2月16日(金)必着

秋田大学理工学部総合型選抜の疑問にお答えします

Q1 理工学部総合型選抜を受けたいのですが、他大学との併願はできますか？

A1 できます。ただし理工学部総合型選抜の出願資格は「合格した場合、入学を確約することができる者」です。他大学と併願しても、理工学部総合型選抜に合格した場合は秋田大学に入学することが前提です。

Q2 理工学部の総合型選抜Ⅰの面接で口頭試問を行うのはなぜですか？

A2 大学入学後、授業を理解するために基礎学力が必要だからです。

Q3 理工学部総合型選抜Ⅰのときに受講する講義のレポートは、どのようなものですか？

A3 コース毎に講義を行い、講義中に与えられた課題に対する解答を、用紙にまとめて提出いただけます。なお、講義のテーマは選抜期日当日に公表します。

Q4 講義には高等学校で習う範囲外の内容を含むようですが、レポートを書くためにどのような準備をすればよいですか？

A4 講義には高等学校で学習する範囲外の内容も含まれますが、その場で十分に説明しますので、特別な知識は必要ありません。レポートを書くことについては、自分の考えをまとめる力と、文章や数式や図などを用いて論理的に説明する力を磨いて下さい。

Q5 総合型選抜Ⅰで合格した後、勉強のサポートがあるか不安です。

A5 入学前教育を実施しますので、高等学校の勉強や自主学習とともに取り組めば、大学に必要な基礎学力が身につきます。

そのほかに気になることやご質問がありましたらお気軽に入試課へお問い合わせください。

秋田大学入試課（理工担当）
TEL 018-889-2313
E-mail nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

秋田大学理工学部 学科・コース一覧

生命科学科

ライフサイエンス分野のさまざまな課題に
挑戦する研究者・技術者の育成

▼生命科学コース



【化学実験Ⅰ（2年次）の様子】

生命科学コースの教育プログラムでは、化学と生物学を中心とした広範かつ先端の知識と研究技術が習得可能です。

難治性疾患、増え続ける人口に対する食料生産、環境保全などの諸問題に取り組める能力を培い、医薬品や健康食品開発等のバイオ・化学企業を始めとするあらゆる生命科学関連産業で活躍できる人材を養成します。

過去の講義のテーマ

- R5 有機分子の立体構造
- R4 ATP合成のしくみ
- R3 くすりの科学

数理・電気電子情報学科

数学・物理から電気・電子、情報通信の
各分野をリードする多彩な人材の育成

▼数理科学コース



【勉強成果を発表するセミナーの様子】

数理科学コースでは、数理科学の理論と応用を学び、社会の諸問題の解明に活用したり、高等学校教員（数学）・中学校教員（数学）となり地域の理数系教育の向上に貢献するための教育研究を行います。

代数学、幾何学、解析学、離散数学、量子力学、電磁気学を中心として、コンピュータサイエンスを含む数理科学について学びます。

過去の講義のテーマ

- R5 頂点と辺の集まり・オイラーの多面体定理
- R4 連分数と有理数・無理数
- R3 複素数の応用

▼電気電子工学コース



【創造工房実習（2年次）での競技会の様子】

電気電子工学コースでは、発電や蓄電技術、電子デバイス技術、情報通信技術、制御技術を通じて、社会に役立つ技術開発能力を身につける教育研究を行います。

電力工学、半導体デバイス工学、計測エレクトロニクス、電気機器学を中心として、電気・電子・情報・通信工学を支える基礎技術について学びます

過去の講義のテーマ

- R5 電気音響変換器
- R4 モーター
- R3 磁性材料とその応用

▼人間情報工学コース



【プログラミング実習の様子】

人間情報工学コースでは、ヒトを中心とした情報処理システムの開発を通して、地域社会の課題を解決し新たな価値を創造するための教育研究を行います。

バイオメトリクスシステムや医療作業支援システムの開発、情報通信ネットワークの安全性・利便性の向上など、コンピュータサイエンスを基礎とした高度な応用技術を学びます。

過去の講義のテーマ

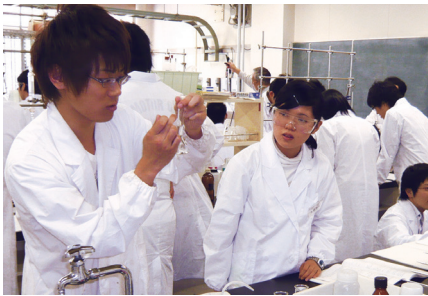
- R5 視線の計測と利用
- R4 情報理論と符号理論から・IoTとネットワークから
- R3 コンピュータとスイッチ 対称美～排他的論理和の世界～

秋田大学工学部では4つの学科に8つのコースを置き、理学と工学の分野で身につけた新しい発想により、諸課題に取り組む人材を養成します。

物質科学科

先端機能材料や化学プロセスに携わる
研究者・技術者の育成

▼応用化学コース



【ホールピペット、ビュレットを用いた分析化学実験（2年次）の様子】

応用化学コースでは原子・分子レベルの化学から、化学を活かしたものづくりまでをカバーした教育研究を行います。
天然および人工の無機材料、有機材料、エネルギーに関連した化学工学からバイオプロセスまで幅広い化学の専門分野を学びます。

過去の講義のテーマ

- R5 酸化還元反応－電池のエネルギーを考える－
- R4 CO₂削減と化学－水素とアンモニアを中心に－
- R3 高分子化学の基礎

▼材料工学コース



【磁性薄膜を作製するための準備の様子】

材料工学コースでは、金属、セラミックス、半導体をベースに材料物性の微視的発現機構を探索しながら、生産プロセスの技術開発を実現するための教育研究を行います。

固体物理学、固体化学、金属材料学、セラミック材料学を中心として基礎科学から材料の工学的応用までの幅広い分野について学びます。

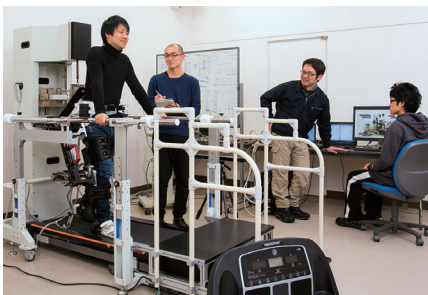
過去の講義のテーマ

- R5 金属材料の魅力～最先端技術で金属材料を知る～
- R4 機能性電子材料とその応用
- R3 粉と粒子の物質科学

システムデザイン工学科

新しいものづくりができる
実践的な技術者の育成

▼機械工学コース



【教員と一緒に歩行訓練ロボットの動作実験を行う様子】

機械工学コースのカリキュラムには、材料力学、熱力学、流体力学の基礎学問に加え、機械力学、制御工学の他、輸送機械の電動化、医療福祉工学、環境に配慮した機械技術に関連した応用科目があります。

これらを学び、研究することにより、エンジニアリングの基盤技術を身に付けた人材を育成しています。

過去の講義のテーマ

- R5 ナノテクノロジーと顕微鏡
- R4 社会を支える機能性薄膜
- R3 持続可能なエネルギーシステム

▼土木環境工学コース



【ドローンを使った測量実習の様子】

土木環境工学コースでは、自然環境・社会環境に配慮した社会基盤の整備・維持・管理や安全・安心・快適な地域環境の創造・保全についての教育研究を行います。

構造力学、水理学、土質工学、交通システム計画、建設材料学などを中心として、安全・安心・快適な地域環境を創造・保全する技術について学びます。

過去の講義のテーマ

- R5 土の基本的性質
- R4 材料の変形を数字で表すには？
- R3 津波の特徴と対策

(注)「過去の講義テーマ」の年は受験者の入学年度です。

インターネット出願について

総合型選抜の出願方法は、「インターネット出願」です。
紙媒体の学生募集要項を作成しておりません。

「令和6年度 理工学部総合型選抜 学生募集要項」(令和5年7月中旬公表予定)に基づき、
手続きを行ってください。

募集要項は、秋田大学受験生ポータルサイト内「入試の要項」のページよりご覧ください。
下記の二次元コードからもご覧いただけます。

入試の要項のページは
こちらから

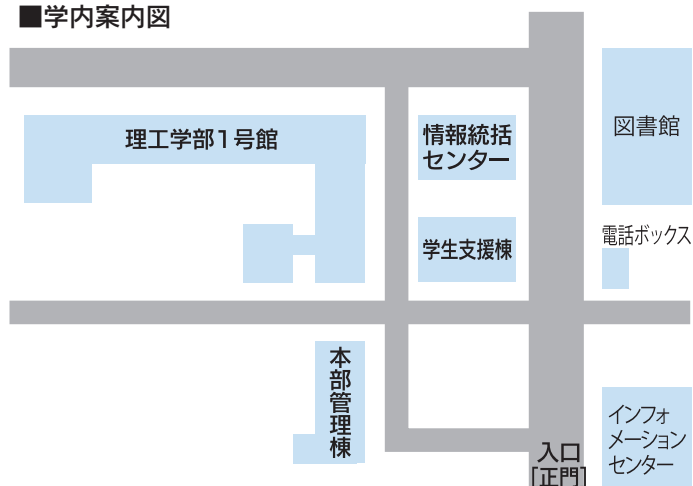


アクセス

秋田大学理工学部へ

- 秋田駅(西口)バスのりば12番から秋田中央交通手形山大学病院線に乗りし、「秋田大学前」下車徒歩1分(所要時間約10分)
- 秋田駅(東口)から秋田大学まで約1.3km(徒歩約15分)

■学内案内図



秋田大学 入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号

